

我思ふ

ESSAY

宗宮 重行

7

エコノミー症候群—旅行者血栓症と呼称

2001年 10月 24日朝日新聞 14版 34面 同 10月 31日 14版 34面 ,10月 31日日本経済新聞 14版 38面 同 11月 2日 13版 42面などに エコノミー症候群のことが報道されている。

これらによると 成田 関空など定期国際便の発着する国内 2空港で 9病院が ,2000年までの 8年間で ,44例発生し ,4人が死亡していた 男性 4人 女性 40人と女性が多く エコノミー席が 31人 ビジネス席が 6人とあった 全員が国際線の客で 搭乗時間は 8時間から 13時間 半数の人は到着まで一度も席を離れずトイレを我慢していたという。

日本宇宙航空環境医学会総会が 2001年 11月 1日に開催され 討議され この症状に対し「旅行者血栓症」と呼ぶことが提言され 列車 船を利用した症例も確認されたという。

理化学研究所貝原眞副主任研究員と岩田宏紀研究員は 引き金になっているのは血液成分中の赤血球の表面にある「エラスターゼ」と呼ぶ酵素であるという。

血液の流れがゆるやかになると 何らかの理由でこの酸素が血漿中にある血液凝固因子の働きを促すという。今回解明した血栓形成は内因系反応と呼ばれる場合で、血管の損傷などで血が固まるのは外因系反応と呼称され、それとは異なる。

この酸素の活性を調べればこの症候にかかり易い体質を診断出来るという。

海外旅行に役立つものを JTBがベテラン添乗員 100名に聞いた所 (朝日新聞 2001年 11月 16日 12版 25面)入浴剤が 1票で 1位 ,2位が 16票で湯沸かし器 ,3位が 1票で粘着テープで 足の疲れをとる湿布が 8票 青竹踏みやアロマオイルが各 2票であったという。

海外旅行では ,2001年 9月 11日のテロもあり 海外に行くときは 約 1週間位の常備薬と医者診断書を持参するのがよいという。

注 1)朝日新聞 10月 24日ではこの数字になっている。



イラスト・外村晋一郎